

## 外傷の重症度が過大腎クリアランスに及ぼす影響に関する研究について

### 1. 研究の対象者

外傷を契機に 2020.4～2024.3 の期間で、EICU に入室した患者のうち入室 2,3 日目に実測クレアチニンクリアランスの測定を行った患者様

### 2. 研究目的・方法

外傷患者では、腎機能が通常より亢進した状態である過大腎クリアランスがしばしば発現することが知られています。この過大腎クリアランスは、腎臓で排泄される医薬品の血中濃度を低下させることが知られています。外傷の重症度が過大腎クリアランスの発現にどう影響するかは未だ不明であり、本研究では、外傷の重症度が過大腎クリアランスに及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより以下の情報を利用します。

性別、身長、体重、外傷の重症度、外傷の部位、血小板、総ビリルビン値、血清クレアチニン値、人工呼吸器管理の有無、実測クレアチニンクリアランス、カテコラミンの使用の有無

### 4. 外部への試料・情報の提供

該当しません

### 5. 研究又は他の研究機関への提供の開始予定日

倫理委員会承認後～2028.12.31 まで

### 5. 研究組織

研究責任者 りんくう総合医療センター 薬剤部門 深津祥央

研究分担者 りんくう総合医療センター 薬剤部門 小林洋平 河津 敏明

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(2023 年 7 月 4 日)

連絡先：

住所：泉佐野市りんくう往来北 2-23

電話番号：072-469-3111（代表）

担当者：薬剤部門 小林洋平

（2023 年 7 月 4 日）